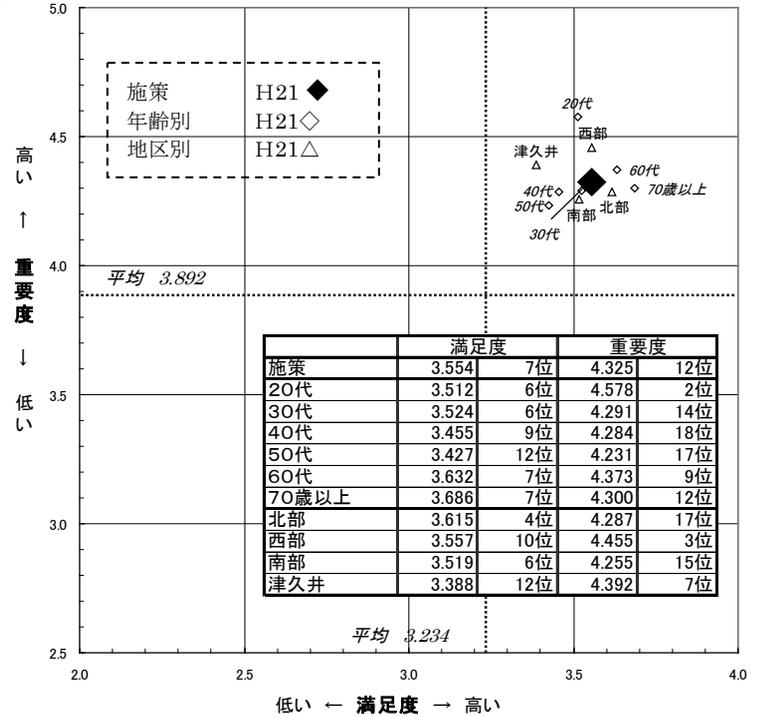




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.554で全119施策の中で7番目。
- 重要度は4.325で12番目である。
- 改善要望度は0.08で46番目である。

人にやさしい交通環境の整備



### 6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4(2)1	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立つて事業展開している	(4)21	(4)21	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	駅のバリアフリー化は、鉄道事業者の協力が不可欠であるが、事業者の整備順位に左右される。また、バス停環境の改善には多くの経費がかかることから、複数年度に分けた整備を行わざるを得ない状況にあり、バス車両の中乗り対応への仕様変更が生じる。
解決策	駅のバリアフリー化やバス車両の仕様変更について、事業者への働きかけを行うとともに、バスの利用状況等を勘案した効果的かつ計画的にバス停環境整備を図る。

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

		2次評価 B
--	--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

		3次評価 B
--	--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向